

ライフサポートプランカンファレンス用紙

利用者氏名	岡安 英子		日付	令和 〇年 7月 28日
参加者	本人、〇〇〇〇（長男） 〇〇〇〇（長男の嫁） 〇〇〇〇（主治医） 〇〇〇〇（管理者） 〇〇〇〇（介護従事者：看護職） 〇〇〇〇（介護従事者） 〇〇〇〇（計画作成担当者） 合計 8名			
本人の望む暮らしの意向	婦人会の活動に参加しながら、夫が残してくれた自宅で役割のある暮らしを続けたい。			
内 容 (各自から出された 主な意見)	本人	家族・介護者	地域、医療、その他	
	<ul style="list-style-type: none"> ・特に困っていることはない。自分のことは自分でできます。あれこれと周りから言われると腹が立つことがある。 ・婦人会に行きたいけれど、膝の具合が良くないから行けない。 ・この家は夫と二人で頑張って建てたから、私が守らないといけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近頃は介護に抵抗することが増えて困っている。 ・いつ一人で出かけていくか分からず困っている。 ・自宅で暮らしたいと本人が思っていることは分かる。 ・婦人会で熱心に活動していたので、今でも行きたいと思っていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危ないから施設に入った方が良いのではないか（近所の人の意見） ・集まって皆で話をするのを楽しみにしていた。珈琲が好きで、入れるのが上手だった。（婦人会の友人の意見） 血圧が高いので服薬を継続してください。脱水に注意してください。また、歩行不安定があるため、転倒に注意してください。（主治医）	
考 察 (みんなで話し合っ て考えたこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・介助に抵抗があるので、事業所とご家族で介助方法の検討をしてみてはどうか。 ・夕食後は部屋でテレビを見て過ごし、10 時頃の就寝後は朝まで良く休んでいる。昼間の時間が安定すれば自宅での暮らしが続けられるだろうか。 ・本人は婦人会には今でも行きたいと思っている。夫と二人で暮らしていた時は、近所の喫茶店に行くのも楽しみにしていた。もしかしたら、そこに出かけたいと思っているのかもしれない。 ・趣味の花壇の手入れは継続できている。本人の生活範囲を広げることができないだろうか。 ・薬の飲み忘れが目立っているため、服薬確認の頻度を検討してはどうか。 ・歩行が不安定なので、転倒に注意が必要。 			
確認事項 (合意点、相違点、 新たな課題)	※当面の具体的な目標は、「自宅の花壇の手入れを続けることができる」から「一先ず週に 1 回、婦人会に出かけることができる」に変更する。（婦人会の友人に参加時のお手伝いを依頼する。）花壇の手入れは今後も継続して支援する。 ※本人が一人で外出しているのを近所の人が見かけた際は、事業所に連絡してもらう。 ※服薬と水分摂取を促すために、訪問を現在の昼 2 回/週に朝 2 回/週を追加する。長男のお嫁さんが休みの日は家族が対応する。 ※珈琲を入れる練習をする機会を増やすために、通いを現在の 2 回/週から 3 回/週に変更する。 ※起居動作の安全確保のための介護用ベッドと、歩行状態が不安定であり転倒のリスクがあるため四点杖は継続してレンタルする。 ※本人の心身機能の状態変化があるため、介助方法についてご家族と情報共有する時間を設ける必要がある。（今後の課題）			
			計画作成担当者	